



竹田 英司

6月は小学校などでのバレーボール教室の季節であり、私は写真撮影と司会のために選手と帯同することがある。小学生の「どうやってバレー選手になる夢をかなえたんですか?」という質問を聞きながら、自分の夢は何だったかと自問した。

私の小学生の頃の夢は落語家か作家だった。教師になることで落



バレーボール教室で小学生の質問に答える、左から安永、深津、唐川、山本各選手（14日）



家族増えた選手 期待

語家になる夢は「培ったネタを人前で披露する」という意味でなかった。昨年の今頃、授業中に「次は新聞に連載を持って、いつか本を出版したい」と語った。

学生たちには「そんなの無理だよ、先生」とあきれたが、私は「志は口に出せばかなう」と偉そうに訓示した。まさか一年も経たずに連載コラムを持つ夢がかなうとは、お釈迦様でも書けないシナリオだ、と勝手に思っている。

さて、閑話休題。おめでた続きのJ-Tサンダーズの慶事を紹介したい。

吉岡光大選手と山本将平主将の結婚式が挙行された。選手一同、体を張って余興に全力投入し、普段の練習と同じくらい熱心に合宿所で余興の練習をしていた。私は挙式をしなかったので、幸福そうな両選手の写真を見ると、うらやましくてたまらない。

また、唐川大志選手に第1子が誕生し、早速、子煩悩ぶりを発揮している。子どものいない私からすると、以前より唐川選手が大きく見えるのは気のせいだろうか。家族が増えた選手に責任感が芽生え、新シーズンにさらなる飛躍をすることを願う。

（J-Tマネジャー）